

郵便報知新聞  
錦画第13号

大坂問屋町木村甚兵衛に一度身  
あげをせる人を放りて御賞金を  
給りてあを人をや放りて金根  
残り明治六年六月廿七日夜代崎  
をしを通りかゝるに廿五年かゝりの  
女泣いども居るに其細を  
尋るに親りて痛ががた支  
らんとす不使の思ふ小説とて  
進んで同道あり天橋松枝  
町徳兵衛とて女のふれ我れ其内  
のりて短衣三脱より全賣入海  
と襦袢を振舞ひて翌日親元  
説るゆつと凡の衣類揃束の爲ふ  
失ひた故かこれと申の衣多くと銭  
女をよへてかり持行ついでならは  
是は諸許次郎あつと一夜の情ふ  
世に耻をうつら嘆へ〜



二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

市  
内  
の  
名  
所

郵便報知新聞 錦画13号 文庫10-8071-10

早稲田大学図書館蔵 / Waseda University Library

